



Slow Food®



A
K
I
N
D

BRAND
& TRADE

神戸市×スローフードインターナショナル

2016年度 スローフードセミナー報告書

By Slow Food International - Japan, AKIND INC.

目次

第一回 スタートアップイベント

- (i) 概要
- (ii) 写真

第二回 「Slow Food Travel の可能性」

- (i) 概要
- (ii) 写真

第三回 「料理を通じて世界を変える」

- (i) 概要
- (ii) 写真

第四回 「テッラ・マードレから見た神戸市の可能性」

- (i) 概要
- (ii) 写真

第五回 「食で社会を変える力 by Slow Food Youth Network」

- (i) 概要
- (ii) 写真

第六回 「スローフードリストとしての生き方 -地域と生きる-」

- (i) 概要
- (ii) 写真

補足資料

- (i) 第二回 スライド資料
- (ii) 第四回 スライド資料
- (iii) 第五回 スライド資料
- (iv) 第五回 配布資料
- (v) 第六回 スライド資料

内容

スローフード国際本部パオロ事務局長が来神し、神戸市との連携開始にあたってスローフードの活動や、重要性について紹介。

開催日時

2016年 6月 26日 (日曜)

11時～15時

参加人数

98名

会場

デザインクリエイティブセンター神戸-
KIITO



第一回 スタートアップイベント



第二回 「Slow Food Travel の可能性 ～食、旅、歴史 - 継承される味と記憶～」

内容

有馬温泉観光協会会長・有馬温泉旅館「御所坊」主人の金井氏と対談。地元の観光とスローフードの親和性について、そして有馬温泉地域でのスローフードトラベルの可能性について話した。

開催日時

2016年 8月 30日（火曜）

第一部 11:00～13:00 第二部 15:00～17:00

参加人数

第一部 42名

第二部 38名

会場

第一部 有馬温泉観光総合案内所 2階

第二部 北神区民センターありまホール



→スローフード有馬支部の発足に発展

第二回 「Slow Food Travel の可能性 ～食、旅、歴史 - 継承される味と記憶～」



内容

レトルトパックの販売を通じて差別問題や飢餓問題について発信したり、繁殖しすぎた外来種の亀を使った商品の開発など、食を通じて様々な取り組みを行なっている「世界のごちそう博物館」の本山氏と対談し、料理人としてフードシステムを変えることについて対談。

開催日時

2016年 11月 5日（日曜）

参加人数

約50名（Farm to Fork内講演のためカウント不可）

会場

東遊園地



第三回 「料理を通じて世界を変える」



第四回 「テッラ・マードレから見た神戸市の可能性」

内容

江戸時代から続く灘の酒蔵「神戸酒心館」副社長の久保田氏と、9月にトリノで開催されたスローフードの祭典「テッラ・マードレ」について紹介し、そこから見えた神戸市での可能性について対談形式で語っていただいた。

開催日時

2016年 8月 30日 (火曜)

第一部 9:00~11:00 第二部 15:00~17:00

参加人数

第一部 14名

第二部 22名

会場

第一部 岡本商店街 岡本好文園ホール

第二部 神戸酒心館 さかばやし



→ 「Slow Sake」プロジェクトの発足に発展

第四回 「テッラ・マードレから見た神戸市の可能性」



第五回 食で社会を変える力 by Slow Food Youth Network

内容

参加者を若者中心に設定し、世界60カ国以上に広がっているスローフードの若者ネットワーク、Slow Food Youth Networkについて紹介。これから神戸でどんなことに取り組んで行きたいか話し合うワールドカフェの時間を設けて発表しあった。

開催日時

2016年 1月 12日 (日曜)

17:00~18:30

参加人数

41名

会場

神戸大学六甲台キャンパス

農学部 B101大講義室

連携センターのレポート記事



第四回スローフードセミナー

食で社会を変える力 by Slow Food Youth Network

ちょっとラディカルに、そしてクリエイティブに、神戸の、日本の、そして地球の食と一緒に考え、行動を起こしていく仲間になりませんか？

神戸市は、農漁業や飲食業の活性化、食文化の向上のために、食都神戸2020構想の一環としてスローフードセミナーをおこなっています。今回のテーマは、「Slow Food Youth Network」。様々な分野や職種の若者が、「食」をキーワードに集結し、総動員で社会を変えようとするネットワークです。日本と世界を舞台に活動するメンバーに、現在の活動について紹介してもらいます。

「食都神戸2020構想」は、神戸市が、新しい食文化の発信地として、世界の人々が集い、食で賑わう街になることを目的としたプロジェクトです。神戸は、都市と農村が近く、瀬戸内海に面した豊かな自然に囲まれ、質の高い農水産物が生産されています。また、港町として交易を中心に栄えてきた経緯から、他の都市では見られない独自の多様な食文化が醸成されています。

学生だけでなく、神戸の行政担当者や農業者、飲食店のシェフ、オーナーなど、食の事業で活躍している方々にも参加していただき、参加者のみなさんと意見交換の場を設けて、これからどんな活動をしていけるか、一緒に考えていきます。

開催日: 1月12日(木)
参加費: 無料
時間: 17時~18時半
場所: 神戸大学六甲台キャンパス
農学部 B101大講義室
定員: 90名

共催: 神戸市
神戸大学大学院農学研究科地域連携センター
スローフードインターナショナル

以下に当てはまるものがある方は、是非ご参加ください！
・食に関心がある、でも何から始めたら良いかわからない。
・やりたいことがあるけど、どこでどうやって誰とやれば良いかわからない。
・すでに「食」をテーマに活動をしているけど、横のつながりが欲しい。
・同じ志を持つ世界中の仲間と意見交換がしたい。
・食をテーマにビジネスをしている人と繋がりたい。

→Slow Food Youth Network神戸が発足

第五回 食で社会を変える力 by Slow Food Youth Network



第六回 スローフードリストとしての生き方 -地域と生きる-

内容

牧場内で数々の先進的な取り組みをし、循環型農業を目指している弓削牧場の場長、弓削忠生さんに牧場内を案内していただき、対談を通して、スローフードの理念を体現し続けることについて、地域と調和しながら生活することについて語っていただいた。

開催日時

2017年 1月 22日 (日曜)

15:00~17:00

参加人数

39名

会場

弓削牧場



第六回 スローフードリストとしての生き方 -地域と生きる-



持続可能な酪農探る 北区の牧場で食のセミナー

北区山田町の弓削牧場で、昨年12月22日に開催された「食のセミナー」の様子が、2023年1月10日発行の「北国」に掲載された。

弓削牧場は、酪農の持続可能性をテーマに、多様な食文化の発信を目的として、約40年前に設立された。約20平方メートルの敷地に、約45頭の牛を飼育している。酪農の持続可能性をテーマに、多様な食文化の発信を目的として、約40年前に設立された。

垂水区 砂浜で空手道場の3〜66歳に活動する「日事。砂浜で「せい」

今年に農業高校へ進学した「牧場が一つの街」の卒業生は、今年から「食のセミナー」に参加している。今年から「食のセミナー」に参加している。

22日午後、民家火災で住人を失った。22日午後、民家火災で住人を失った。